

へ向ヶ出登十一日帰京

(3) 主任級ノ社員ハ爭議團ヨリ自定訪問ヲ受ケレテ以テ若ト果  
行等ノ為損害ヲ被リタル際ハ事業主トシテ責任ヲ負荷スハ  
キヤ否ニツキ川口支配人ヲ銀座營業所ニ訪ヒテ實ス所アリ  
之レ支配人工場管理人ニ對シテ平素ヨリ不平ヲ抱クニ因ル  
一、交渉状況

(1) 附近町民ヨリナル睦會ハ未塩薪炭等ヲ爭議團ニ寄附セルニ  
爭議團員ハ類案ニ廻禮ヲ行ク却テ町民ニ反感ヲ掛ケルヲ以  
テ町内有志ハ相諮リ新水利作 藤村正雄・赤茂・佐伯 教  
高木良司ノ五名調停ヲ申出ツ

(2) 四月十二日午後四時ヨリ正式ノ會見アリ爭議團代表トシテ  
安平鹿一 外務委員六名出席セルノ其狀況ハ各角工場ニ聞ス  
ル申(通)報参照  
如又申(通)報候也

労務第一五一九號

昭和六年四月二十日

警視總監 高橋 守 准

内務大臣 安達 謙 藏 殿  
社 會 局 長 官 殿  
各 縣 庁 長 官 殿 (八ヶ倉君)

三間印刷火葬工場勞働爭議ニ關スル件 第三報 四月十七日迄  
該報標記勞働爭議前報後ノ狀況左ノ道

一、事業主側

前報後川口邊支配人溝口工場管理人等引續キ對策協議スルト共  
ニ金策ニ奔走中ニシテ十四日支拂フヘキ給料ヲ十三日爭議團  
員各自定ニ價格表記ニテ郵送マリ然レテ具体的對策ニツキ大